

文化祭 各クラスの感想(Part 3)

『責任感と嫌われ者になること』

3年1組 K・I

最初の頃は、大学入試の勉強もあるし、文化祭のことはSさんとHさんに頑張ってもらおうと思っていた。正直なところ、面倒くさいなって感じていたからだ。けど、何が面倒くさいのかと問われても分からなかった。何か違和感のようなものがあっただけだ。その違和感の正体は、劇の主役になってすぐに気づいた。「責任感」と「嫌われ者になる」ことだった。責任感はある程度、予想していたので耐えられたが、まさかここまで嫌われ者になるは思っていなかった。

けれど、毎日やりたくないことをやらされる側の気持ちを考えてみれば仕方ないのかもしれない。練習とひきかえに、アルバイトや遊びの時間を失っているのだから。僕は、そうした「嫌々」や「イライラ」を自分に向けられているように感じて、時々、辛い気持ちにもなった。

ところが、ある頃から、そうしたイライラを感じなくなった。劇の練習をがんばっているうちに、舞台上に上がらない人も熱心に練習を見られるようになり、褒めてくれたり、アドバイスをくれたりするようになったのだ。1組の劇は舞台上に上がる人数をしばっていたから、大道具や照明の人たちには手持ち無沙汰な時間もあつた。けれど、その人たちも休日の練習に来てくれたり、放課後の通し稽古にはいてくれたり、と、自分の役割を果たそうとしてくれた。これは本当に嬉しかった。劇をがんばるにつれて、1組が自分の居場所だという感覚が増えていったように思う。

だけど1組は、練習の終盤で「慣れちゃう」という大問題が起きてしまった。そうすると、練習がいまいちでも帰る、そもそもあまり残らない、といったことになってしまう。この時は、流石に壁にぶつかった気持ちになった。けれど、Sさんが軽音楽部をまとめている姿を見て、自分もここで諦めたらだめだなと思って、気合を入れなおした。その時には、謎にやる気を出し始める人がいたり、文句言う人もいたりしたけれど、みんながクラスの劇のために一生懸命で、励まされているように感

気持ちの面で、たくさんの人に支えられていた。一人ひとりの熱意が、文化祭当日の成功につながったと思う。

僕が今回の文化祭で学んだことは、リーダーの大変さと、今日がダメでも次に生かさうというメンタルの大切さ、このふたつだ。文化祭までは、授業中の態度から下校時間の順守、無遅刻無欠席と、生活のありとあらゆる面で気をつけていたけれど、あの、ピリっとした日々ももうなくなるのかと思うと、寂しいなと思う。だから、これから、受験・卒業に向けて、残った日々を悔いのないようになんげばって、文化祭とおんなじくらいに「高校3年生」を成功させたい。以上。夜露死苦！



12月行事予定

3日(月) 期末考査
4日(火) 期末考査
5日(水) 月1256
6日(木) 木1~4
7日(金) 金1~4

10日(月) 月3~6
11日(火) 火1~4
12日(水) 水1~4
13日(木) 木1256
14日(金) 金3~6

(16日~18日まで
2年生は宿泊研修。)



17日(月) 月1~4
18日(火) 火1256
19日(水) 水1256、成績懇談
20日(木) 木3~6、成績懇談
21日(金) 水34+終業式

24日(月) 振替休日
25日(火) 冬休み
26日(水)
27日(木)
28日(金)

31日(月)

12月は全て短縮授業

12月